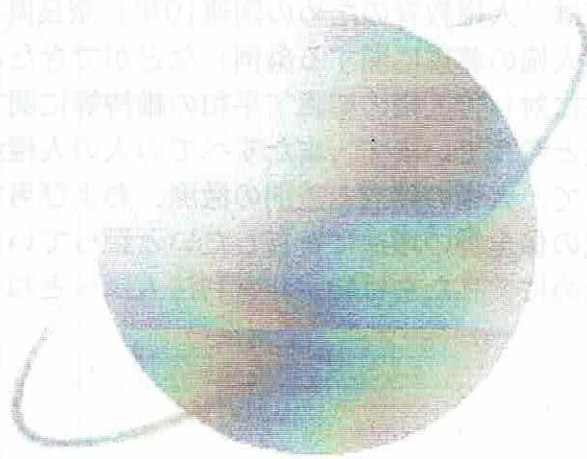


HOT NET



HOT NET

人権の時代へ、私たちがフロンティア

事業

- ・ 人権教育・啓発手法の開発、普及、宣伝
- ・ 社会的弱者のためのデジタルデバインド克服とITの推進、HP作成支援
- ・ 不登校の子どもたちの支援、地域の教育活動支援

メンバー

- ・ 入会金5,000円、年会費3,000円
- ・ メンバーの中から、10人の理事を選出し運営体制
- ・ 各メンバー自己責任で、自主的に活動に参加

特定非営利活動法人 ほっとねっと 定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人ほっとねっとという。略称は英文で、HOT NETと表示する。

(事務所)

第2条 この法人は、事務所を奈良県奈良市大安寺1丁目23番1号に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、奈良県において「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」、
「『人権教育のための国連10年』奈良県行動計画」、「奈良県あらゆる差別の撤廃及び人権の尊重に関する条例」などの趣旨にのっとり、広く奈良県民に対して人権の擁護・平和の維持等に関する啓発や社会教育等の事業を行い、すべての人の人権がさまたげられることのないまちづくりの推進を通じて、人権の確立と差別の撤廃、男女共同参画社会の形成及び子どもの健全育成に寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 社会教育の推進を図る活動
- (2) まちづくりの推進を図る活動
- (3) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- (4) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- (5) 子どもの健全育成を図る活動
- (6) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

(事業の種類)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の特定非営利活動に係る事業を行う。

- (1) 人権の擁護・平和の維持に関する調査研究出版事業
- (2) 人権の擁護・平和の維持に関する資料収集及び情報発信事業
- (3) 人権の擁護・平和の維持に関する集会、学習会及び講座等の開催事業
- (4) 人権学習を実施するための講師の斡旋・派遣事業
- (5) 人権侵害についての相談事業
- (6) 諸団体が行う関連事業の企画及び立案事業
- (7) 情報格差（デジタルデバイド）克服のための事業
- (8) ボランティアの募集、訓練及び派遣事業
- (9) 社会的弱者のためのネットワーク推進及び相互支援事業

第3章 会員

(種別)

第6条 この法人の会員は、次の2種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という。）上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人及び団体
- (2) 賛助会員 この法人の目的に賛同し、事業の推進を援助するために入会した個人及び団体

(入会)

第7条 会員の入会については、特に条件を定めない。

- 2 会員として入会しようとするものは、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとし、理事長は、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。
- 3 理事長は、前項のもの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(入会金及び会費)

第8条 会員は、総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(会員の資格の喪失)

第9条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 退会届の提出をしたとき。
- (2) 本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき。
- (3) 継続して2年以上会費を滞納したとき。
- (4) 除名されたとき。

(退会)

第10条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第11条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) この定款等に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又はこの法人の目的に反する行為をしたとき。

(拠出金品の不返還)

第12条 既納の入会金、会費及びその他の拠出金品は、返還しない。

第4章 役員及び職員

(種別及び定数)

第13条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 10人以上15人以内
 - (2) 監事 2人
- 2 理事のうち、1人を理事長、2人を副理事長とする。

(選任等)

第14条 理事及び監事は、総会において選任する。

- 2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。
- 3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。
- 4 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

(職務)

第15条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総括する。

- 2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるとき又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。
- 3 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。
- 4 監事は、次に掲げる職務を行う。
 - (1) 理事の業務執行の状況を監査すること。
 - (2) この法人の財産の状況を監査すること。
 - (3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。
 - (4) 前号の報告をするために必要がある場合には、総会を招集すること。
 - (5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べ、必要により理事会の招集を請求すること。

(任期等)

第16条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠のため、又は増員によって就任した役員任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(欠員補充)

第17条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第18条 役員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを解任することができる。この場合、その役員に対し、議決する前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 心身の故障のため、職務の遂行に堪えられないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

(報酬等)

第19条 役員は、その総数の3分の1以下の範囲内で報酬を受けることができる。

- 2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(職員)

第20条 この法人に、事務局長その他の職員を置く。

- 2 職員は、理事長が任免する。

第5章 総会

(種別)

第21条 この法人の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。

(構成)

第22条 総会は、正会員をもって構成する。

(権能)

第23条 総会は、以下の事項について議決する。

- (1) 定款の変更

- (2) 解散
- (3) 合併
- (4) 事業計画及び収支予算並びにその変更
- (5) 事業報告及び収支決算
- (6) 役員を選任又は解任、職務及び報酬
- (7) 入会金及び会費の額
- (8) 借入金（その事業年度内の収入をもって償還する短期借入金を除く。第48条において同じ。）その他新たな義務の負担及び権利の放棄
- (9) 事務局の組織及び運営
- (10) その他運営に関する重要事項

（開催）

第24条 通常総会は、毎年1回開催する。

2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。
- (2) 正会員総数の5分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第15条第4項第4号の規定により、監事から招集があったとき。

（招集）

第25条 総会は、前条第2項第3号によって監事が招集する場合を除き、理事長が招集する。

2 理事長は、前条第2項第1号及び第2号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。

3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも10日前までに正会員に対して通知しなければならない。

(議長)

第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第27条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第29条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、前2条及び次条第1項の適用については、総会に出席したものとみなす。

4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わることができない。

(議事録)

第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 正会員総数及び出席者数（書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。）
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

- 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。

第6章 理事会

(構成)

第31条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第32条 理事会は、この定款で定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

(開催)

第33条 理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めたとき。
- (2) 理事総数の3分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第15条第4項第5号の規定により、監事から招集の請求があったとき。

(招集)

第34条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長は、前条第2号及び第3号の規定による請求があったときは、その日から15日以内に理事会を招集しなければならない。

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに理事に対して通知しなければならない。

(議長)

第35条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

(議決)

第36条 理事会における議決事項は、第34条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

- 2 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第37条 各理事の表決権は、平等なるものとする。

- 2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。
- 3 前項の規定により表決した理事は、前条及び次条第1項の適用については、理事会に出席したものとみなす。
- 4 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

(議事録)

第38条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名（書面表決者にあつては、その旨を付記すること。）
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

- 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。

第7章 資産及び会計

(資産の構成)

第39条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された資産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 寄付金品
- (4) 財産から生じる収入
- (5) 事業に伴う収入
- (6) その他の収入

(資産の管理)

第40条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(会計の原則)

第41条 この法人の会計は、法第27条各号に掲げる原則に従って行うものとする。

(事業計画及び予算)

第42条 この法人の事業計画及びこれに伴う収支予算は、理事長が作成し、総会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第43条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(予備費の設定及び使用)

第44条 予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算中に予備費を設けることができる。

2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(予算の追加及び更正)

第45条 予算議決後にやむを得ない事由が生じたときは、総会の議決を経て、既定予算の追加又は更正をすることができる。

(事業報告及び決算)

第46条 この法人の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。

2 決算上剰余金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

(事業年度)

第47条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(権限の措置)

第48条 予算をもって定めるもののほか、借入金の借入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、総会の議決を経なければならない。

第8章 定款の変更、解散及び合併

(定款の変更)

第49条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の4分の3以上の多数による議決を経、かつ、法第25条第3項に規定する軽微な事項を除いて所轄庁の認証を得なければならない。

(解散)

第50条 この法人は、次に掲げる事由により解散する。

- (1) 総会の決議
- (2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
- (3) 正会員の欠亡
- (4) 合併
- (5) 破産
- (6) 所轄庁による設立の認証の取消し

2 前項第1号の事由によりこの法人が解散するときは、正会員総数の4分の3以上の承諾を得なければならない。

3 第1項第2号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第51条 この法人が解散（合併又は破産による解散を除く。）したときに残存する財産は、法第11条第3項に掲げる者のうち、解散の総会で定める者に譲渡するものとする。

(合併)

第52条 この法人が合併しようとするときは、総会において正会員総数の4分の3以上の議決を経、かつ、所轄庁の認証を得なければならない。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第53条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。

第10章 雑則

(細則)

第54条 この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て、理事長がこれを定める。

附 則

1 この定款は、この法人の成立の日から施行する。

2 この法人の設立当初の役員は、次に掲げる者とする。

理事長	伊藤 満	奈良県桜井市大字大福171番地の2
副理事長	大平和幸	奈良県宇陀郡御杖村大字菅野3450番地
同	仲林弘次	奈良県御所市大字本馬155番地の27
理事	立花芳博	奈良県生駒郡斑鳩町龍田西2-1-38-504
同	北場好美	奈良県橿原市大久保町185番地の8

同	加護善三	奈良県橿原市慈明寺町257番地の11
同	阪本寿則	奈良県宇陀郡御杖村大字菅野3126番地の1
同	北島 孝	奈良県奈良市西大寺南町2-28-9A
同	奥 正文	奈良県桜井市大福252番地の23
同	仲川雅博	奈良県大和高田市磯野北町10-13
同	松本清二	奈良県桜井市大福200番地の3
同	陶山充子	奈良県磯城郡田原本町千代154-5
同	寺前美加	奈良県奈良市大森町17番地の3 岡田コーポ302号
監事	田川雅人	奈良県宇陀郡菟田野町岩崎238-37
同	竹中洋幸	奈良県御所市東寺田31-8

- 3 この法人の設立当初の役員任期は、第16条第1項の規定にかかわらず、成立の日から2003年6月30日までとする。
- 4 この法人の設立当初の事業計画及び収支予算は、第42条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによるものとする。
- 5 この法人の設立当初の事業年度は、第47条の規定にかかわらず、成立の日から2003年3月31日までとする。
- 6 この法人の設立当初の入会金及び会費は、第8条の規定にかかわらず、次に掲げる額とする。

(1)入会金	正会員	5000円
(2)年会費	正会員	3000円
	賛助会員	3000円

設 立 趣 旨 書

1 趣旨

私たちは、2000年12月に「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が制定されたこと、また奈良県においては「『人権教育のための国連10年』奈良県行動計画」、「奈良県あらゆる差別の撤廃及び人権の尊重に関する条例」などができたことをうけ、その趣旨にのっとり、広く奈良県民に対して人権の擁護・平和の維持等に関する啓発や社会教育等の事業を行い、すべての人の人権がさまたげられることのないまちづくりの推進を通じて、人権の確立と差別の撤廃、男女共同参画社会の形成及び子どもの健全育成に寄与したいと願っています。今後私たちの活動が、より幅広い展開をし効果をあげるためには、法人格を持ち社会に認知され、信用を得ることが重要であり、今回の申請に至ったものであります。

2 申請に至るまでの経過

- ・ 2002年1月8日 設立にむけた発起人による打ち合わせ
- ・ 2002年1月28日 設立にむけた発起人会
- ・ 2002年3月24日 設立総会開催

2002年 月 日

特定非営利活動法人ほっとねっと
設立代表者

住所 奈良県桜井市大字大福171番地の2
氏名 伊藤 満 印

設立認証申請書

2002年 月 日

奈良県知事 殿

申請者	郵便番号	633-0067
	住 所	奈良県桜井市大字大福171番地の2
	氏 名	伊藤 満 印
	電話番号	0744-42-3080

特定非営利活動促進法第10条第1項の規定により特定非営利活動法人の設立の認証を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

役員名簿

特定非営利活動法人 ほっとねっと

役名	フリガナ 氏名	住所又は居所	備考
理事	イトウ ミツル 伊藤 満	奈良県桜井市大字大福171番地の2	理事長
理事	オオヒラ カズユキ 大平和幸	奈良県宇陀郡御杖村大字菅野3450番地	副理事長
理事	ナカバヤシ ヒロツグ 仲林弘次	奈良県御所市大字本馬155番地の27	副理事長
理事	タチバナ ヨシヒロ 立花芳博	奈良県生駒郡斑鳩町龍田西2丁目1番38-504号	
理事	キタバ ヨシミ 北場好美	奈良県橿原市大久保町185番地8	
理事	カゴ ヨシミ 加護善三	奈良県橿原市慈明寺町257番地の11	
理事	サカモト トシノリ 阪本寿則	奈良県宇陀郡御杖村大字菅野3126番地の1	
理事	キタジマ タカシ 北島 孝	奈良県奈良市西大寺南町2-28-9A	
理事	オク マサフミ 奥 正文	奈良県桜井市大福252番地の23	
理事	ナカガワ マサヒロ 仲川雅博	奈良県大和高田市磯野北町10番13号	
理事	マツモト セイジ 松本清二	桜井市大字大福500番地の3	
理事	スヤマ アツコ 陶山充子	奈良県磯城郡田原本町大字千代154番地の5	
理事	テラマエ ミカ 寺前美加	奈良県奈良市大森町17番地の3岡田コーポ302号	
監事	タガワ マサト 田川雅人	奈良県宇陀郡菟田野町大字岩崎238番地の37	
監事	タケナカ ヒロユキ 竹中洋幸	奈良県御所市大字東寺田31番地の8	

2002年 月 日

特定非営利活動法人
ほっとねっと 御中

役員就任承諾書

住 所 _____

氏 名 _____ 印 _____

私は、特定非営利活動法人ほっとねっとの理事に就任することを承諾いたします。

原本と相違ないことを証明します。

2002年 月 日

特定非営利活動法人ほっとねっと
設立代表者 伊藤 満 印

2002年 月 日

特定非営利活動法人
ほっとねっと 御中

宣 誓 書

住 所 _____

氏 名 _____ 印 _____

私は、特定非営利活動促進法第20条各号に該当しないこと及び同法第21条の規定に違反しないことを誓います。

原本と相違ないことを証明します。

2002年 月 日

特定非営利活動法人ほっとねっと
設立代表者 伊藤 満 印

役員のうち報酬を受ける者の名簿

特定非営利活動法人 ほっとねっと

役名	氏名	住所又は居所	備考
		該当者なし	

社員のうち10人以上の者の名簿

特定非営利活動法人 ほっとねっと

氏名	住所又は居所	備考
伊藤 満	奈良県桜井市大字大福171番地の2	
大平和幸	奈良県宇陀郡御杖村大字菅野3450番地	
仲林弘次	奈良県御所市大字本馬155番地の27	
立花芳博	奈良県生駒郡斑鳩町龍田西2丁目1番38-504号	
北場好美	奈良県橿原市大久保町185番地8	
加護善三	奈良県橿原市慈明寺町257番地の11	
阪本寿則	奈良県宇陀郡御杖村大字菅野3126番地の1	
北島 孝	奈良県奈良市西大寺南町2番地の28 9A	
奥 正文	奈良県桜井市大福252番地の23	
仲川雅博	奈良県大和高田市磯野北町10番13号	
松本清二	桜井市大字大福500番地の3	
陶山充子	奈良県磯城郡田原本町大字千代154番地の5	
寺前美加	奈良県奈良市大森町17番地の3岡田コーポ302号	

確 認 書

特定非営利活動法ほっとねっとは、特定非営利活動促進法第2条第2項第2号及び同法第12条第1項第3号のいずれにも該当することを、2002年3月24日に開催された設立総会において確認しました。

2002年 月 日

特定非営利活動法人ほっとねっと

設立代表者 住所 奈良県桜井市大字大福171番地の2

氏名 伊藤 満

印

設 立 趣 旨 書

1 趣旨

私たちは、2000年12月に「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が制定されたこと、また奈良県においては「『人権教育のための国連10年』奈良県行動計画」、「奈良県あらゆる差別の撤廃及び人権の尊重に関する条例」などができたことをうけ、その趣旨にのっとり、広く奈良県民に対して人権の擁護・平和の維持等に関する啓発や社会教育等の事業を行い、すべての人の人権がさまたげられることのないまちづくりの推進を通じて、人権の確立と差別の撤廃、男女共同参画社会の形成及び子どもの健全育成に寄与したいと願っています。今後私たちの活動が、より幅広い展開をし効果をあげるためには、法人格を持ち社会に認知され、信用を得ることが重要であり、今回の申請に至ったものです。

2 申請に至るまでの経過

- ・2002年1月8日 設立にむけた発起人による打ち合わせ
- ・2002年1月28日 設立にむけた発起人会
- ・2002年3月24日 設立総会開催

2002年 月 日

特定非営利活動法人ほっとねっと
設立代表者

住所 奈良県桜井市大字大福171番地の2
氏名 伊藤 満 印

設立者名簿

特定非営利活動法人 ほっとねっと

氏名	住所又は居所	備考
伊藤 満	奈良県桜井市大字大福171番地の2	
大平和幸	奈良県宇陀郡御杖村大字菅野3450番地	
仲林弘次	奈良県御所市大字本馬155番地の27	
立花芳博	奈良県生駒郡斑鳩町龍田西2丁目1番38-504号	
北場好美	奈良県橿原市大久保町185番地8	
加護善三	奈良県橿原市慈明寺町257番地の11	
阪本寿則	奈良県宇陀郡御杖村大字菅野3126番地の1	
北島 孝	奈良県奈良市西大寺南町2番地の28 9A	
奥 正文	奈良県桜井市大福252番地の23	
仲川雅博	奈良県大和高田市磯野北町10番13号	
松本清二	桜井市大字大福500番地の3	
陶山充子	奈良県磯城郡田原本町大字千代154番地の5	
寺前美加	奈良県奈良市大森町17番地の3岡田コーポ302号	

設立当初の特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2002年3月24日現在

特定非営利活動法人 ほっとねっと

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	0		
(流動資産合計)		0	
2 固定資産			
(固定資産合計)	0	0	
(資産合計)			0
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
預り金	0		
(流動負債合計)		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
退職給与引当金	0		
(固定負債合計)		0	
(負債合計)			0
正味財産			0

設立当初の事業年度について

特定非営利活動法人 ほっとねっと

特定非営利活動法人ほっとねっとは、事業年度を設け、設立当初の事業年度は次のとおりとします。

自 法人成立の日

至 2003年3月31日